



放課後等デイサービス自己評価表（2020年度）

ILIS CLUB 泉大津

（環境・体制整備）

①お子様の活動スペースとして事業所の広さは十分ですか？

どちらともいえない。

基準を満たしているが、活動内容によりもう少し広いほうが活動をしやすい場合もある。

整理整頓をして広く見せる工夫をしている。ワンフロアを大きく使って見守りやすい環境であり安全性には長けている。昨年末に2Fを療育用にと工事を行った。

②職員の数や専門性は適切ですか？

どちらともいえない

イベントの際は職員を多めに配置して、よりお子さまの動作に目が行き届くよう心掛けている。

機能訓練など専門的な職員がいるとなお良い。

③事業所内は、スロープや手すりの設置など、バリアフリー化の配慮がされていますか？

どちらともいえない。

車イス用のスロープを配置している。

スロープはあるものの、トイレ内の手すりや車イスが入れる広さが無いのが改善点である。

（業務改善）

④業務の改善のために目標を決め、その目標が達成できているか、事業所の職員の多くで振り返りをしていますか？（PDCAサイクル）

はい。

会議にてお子さまの対応について話し合いを行い情報を共有している。

毎年振り返りを行い、再目標を決定している。

⑤保護者様向け評価表を活用し、保護者様の意向を把握し、業務の改善につなげていますか？

はい。

保護者様からのアンケートをしっかりと受けとめ業務改善に努めている。

⑥この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開していますか？

はい。

ホームページにて情報公開を行っている。

⑦第三者による外部評価を行い、その結果を業務の改善につなげていますか？

いいえ。

現在は行っていないが、外部評価を取り入れて正確な評価を行なえるようにしていきたい。

⑧職員の資質向上のために、研修の機会を確保していますか？

はい。

職員は定期的に行われている各研修に積極的に参加している。

（適切な支援の提供）

⑨アセスメントを適切に行い、お子様と保護者様の希望や課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成していますか？

はい。

保護者様との話し合いの機会も増え、日々のお子さまとの関わりの中で課題やニーズを分析している。

⑩ お子様の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツール※1を使用していますか？

はい。

アイリスクラブが定めた書式を用いており、社内全体で書式を統一している。

⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っていますか？

はい。

スタッフ間で話し合って日々の活動プログラムを決定している。

季節や流行りのイベントも積極的に取り入れている。

⑫ 活動プログラムを固定化しないよう工夫していますか？

どちらともいえない。

毎週、活動プログラムを変えて固定化されない工夫は行っている。

お子さまが”今”やりたいと思っている内容も柔軟に取り入れており曜日固定のイベントや各週の

イベントも企画しているが、慣れ親しんだプログラムを継続していく大切さも必要と考えている。

⑬ 平日・休日・長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援していますか？

はい。

平日と休日のスケジュールは変えている。特に長期休暇では時間を十分にかけて挑戦できる課題を設定している。

⑭ お子様の状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせて個別支援計画を作成していますか？

はい。

個々に合わせたペースで個別・集団活動を支援をしており、個別支援計画の作成に繋げている。

集団への参加が難しいお子さまも自然と輪に入れるような環境作りを心掛けている。

⑮ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認していますか？

はい。

職員間で当日の流れや支援内容を話し合っている。急な変更もすぐに伝えるように心掛けている。

⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有していますか？

はい。

職員全員で終礼を行い、当日の振り返りをしている。お子さまの些細な変化や気づいたことは伝えあっている。

⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげていますか？

はい。

個別療育ではお子さまにどのような支援を行ったか、その結果、お子さまがどう感じたかをしっかりと記録している。

⑱ 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しが必要かどうかを判断していますか？

はい。

モニタリングを行い、個々に合わせた課題を話し合い個別支援計画の見直しを判断している。

積極的に保護者様との面談を行い、より良い支援に繋げる努力をしている。

⑱ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っていますか？

はい。

お子さま一人一人の特性に合わせた支援を行い、お子さまが望む遊び等多彩な活動プログラムを用意している。成功体験を重ねお子さまの長所を伸ばし、課題をクリアできるように心掛けている。

（関係機関や保護者様との連携）

⑳障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議に、そのお子様の状況に精通した最もふさわしい職員が参加していますか？

はい。

以前に比べてサービス担当者会議では事業所職員・相談支援員・保護者様が集まって話し合いをする機会が増えている。

㉑学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換・下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応・トラブル発生時の連絡）を適切に行っていますか？

はい。

前年に比べて学校との情報共有の機会が増えている。

学校との情報共有の必要性は感じており、より一層学校との関係性を築きたいと考えている。

㉒医療ケアが必要なお子様を受け入れる場合は、お子様の主治医等と連絡体制を整えていますか？

どちらともいえない。

救急時や医療的ケアが必要な時に備えて近隣の病院に連絡できる体制を整えておく。

㉓就学前に利用していた保育所・幼稚園・認定こども園・児童発達支援事業所等と、情報の共有をしていますか？

はい。

以前に比べて直接的な情報共有はできている。より話し合いができる機会を増やす。

卒園時の引継ぎ等についても園とのやりとりは増えている。

㉔学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供していますか？

どちらともいえない。

障がい福祉サービス事業所等との関わりは前年に比べて増えている。

より詳しい情報を伝えられるよう、引き続き努力する。

㉕児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けていますか？

はい。

研修・講習を受けている。今後も積極的に参加する。

㉖放課後児童クラブや児童館との交流や障がいのない子どもと活動する機会がありますか？

どちらともいえない。

前年はほとんどなかったが、少しずつ交流の機会を設けることができた。

これからも交流の機会を設けていきたい。

㉗（地域自立支援）協議会等※2へ積極的に参加していますか？

どちらともいえない。

今後も続けて参加する。地域ネットワークの強化を図る。

㉘日頃からお子様の発達状況や課題を、事業所と保護者様とで伝え合い、共通の理解ができていますか？

はい。

事業所でのお子さまの様子を伝えると共に自宅での様子を尋ね、今後の支援に繋げる。

②9 保護者様の対応力の向上を図る観点から、保護者様に対して、育児に関する助言等の支援を行っていますか？

はい。

保護者様からの相談を受けニーズに合わせた支援を行い必要な場合は資料の提供やアドバイスを行っている。声かけの方法・対応について相談を受けることが増えている。

（保護者様への説明責任等）

③0 運営規程・支援の内容・利用者負担等について丁寧な説明を行っていますか？

はい。

契約時や説明を希望される場合に行っている。

③1 保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っていますか？

はい。

事業所でのお子さまの様子、自宅での様子を保護者様と話し合い課題を明確にして” どういった支援が必要か” を伝えている。

③2 親の会の開催等により、保護者様同士の連携の支援をしていますか？

はい。

定期的に保護者会を開催して、多くの保護者様に参加をしていただいている。
保護者様同士の交流の場としても楽しい会にしていきたい。

③3 お子様や保護者様からの相談や申し入れがある場合の対応の体制が整っていることを、お子様や保護者様へ説明していますか？また、相談や申し入れがあった場合、迅速かつ適切な対応をしていますか？

はい。

苦情や希望があった場合は速やかに職員間で話し合い、今後の支援に繋げている。

③4 定期的におたよりやホームページ等で、活動内容・行事予定・連絡体制等の情報を発信していますか？

はい。

毎月のおたよりに活動内容や予定を記載している。
定期的にブログの投稿もしておりホームページで公開している。

③5 個人情報の取り扱いは適切ですか？

はい。

保護者様に了承を得てブログに写真を載せている。
個人名が書かれた書類の取り扱いには十分に気をつけている。

③6 障がいのあるお子様や保護者様との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしていますか？

どちらともいえない。

あいうえお表や絵カード等を用いて意思疎通の工夫をしている。
お子さまや保護者様にも見やすいように字を大きくする、フリガナをつける等している。

③7 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関われた事業運営をしていますか？

いいえ。

現在は保護者様以外の方々のイベント参加はない。地域のイベントで地域の方々と交流を行っている。

（非常時等の対応）

③⑧緊急時対応マニュアル・防犯マニュアル・感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者様に周知していますか？

どちらともいえない。

マニュアルはあるものの、保護者様に周知できていない部分がある。

伝え方を工夫して、より詳しく知っていただけるよう努める。

③⑨非常災害の発生に備え、定期的に避難・救出その他必要な訓練を行っていますか？

はい。

毎月、避難訓練を行っている。お子さま向けに紙芝居やクイズで伝わりやすい工夫をしている。

今後は保護者様にもどのようなことをしているか発信していく。

④⑩虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしていますか？

はい。

虐待防止の研修に積極的に参加している。

研修に参加したスタッフが事業所スタッフにも内容を伝えている。

④⑪どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、お子様や保護者様に事前に十分に説明し、了解を得た上で、個別支援計画に記載していますか？

はい。

やむを得ず身体拘束が必要な場合は保護者様としっかりと話し合ったうえで個別支援計画に記載する。

④⑫食物アレルギーのあるお子様について、医師の指示書に基づく対応をしていますか？

はい。

事前に食物アレルギーを保護者様に確認しており、食事の際には気をつけている。

④⑬ヒヤリハット事例集を作成して、職員間で共有していますか？

はい。

社内全体で取り組み、他のアイリスクラブ事業所の事例も確認する等スタッフ間で情報を共有している。

（注釈）

※1 「標準化されたアセスメントツール」

知的能力だけでなく、社会適応能力（対人関係や社会性等）の観点から、お子様それぞれの支援ニーズを客観的に把握するための基本的なツールのこと

※2 「（地域自立支援）協議会等」

障がい児相談支援事業所・学校・医療機関・専門機関・保育所

- ・児童発達支援事業所・他の放課後等デイサービス事業所・放課後児童クラブ
- ・自治体など